

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブ岡町校		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2026年1月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2026年1月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・家族支援と園連携を積極的に実施している	・利用毎に保護者との振り返りを実施し、必要に応じて子育てサポートも実施している ・保護者と相談のうえ、必要に応じて保育園やこども園にも訪問して関係機関連携を実施した	・契約されている全児童へ実施できているわけではないため、より多くのご希望にお応えできるように対応可能なスタッフの育成を進めていく
2	・支援内容が的確に実施できている	・支援時間外でも、保護者と密に連絡をとって情報共有を行っている ・支援の希望を毎回の振り返り時間で、細かくアセスメントすることができている	・保護者のニーズにのみ答えるのではなく、本人が楽しく取り組める様に教材を工夫する
3	・保護者の悩みに対して真摯に受け止めて、助言を行っている	・療育後の振り返りの時間を大切に、近況や悩み等をヒアリングすることに全支援員が努めている	・定期的に保護者会を開催し、保護者同士の関わりを通して親目線の助言が聞く事ができる場を設ける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設以外の同年代の子ども達との関りが無い	・地域との関りを持つには事業所として何が確かを把握できていない ・保護者の中には利用していることを知られたくない方もおられるので、積極的な来室が難しいと思い込んでしまっている	・事業所間の繋がりが持つ事ができている為、自事業所が参加しやすいイベントにこちらから参加するようにする
2	・運動面における専門的なスタッフが不足している	・「運動」の時間を設けてサーキットを用いて体幹を鍛えらえるような粗大運動をプログラムに取り入れているが、姿勢保持や特定の競技(体操や球技など)に関してより専門的なアプローチの必要性を感じている	・粗大運動を得意としている事業所との連携や児童発達支援センターに在籍しているOTさんへ協力を依頼し、現場スタッフの能力向上を目指す
3	・放課後等デイサービスと比べて特別イベントの実施回数が少ない	・契約されている児童のみで定員数に達しないため、特別イベント立案までいかない	・流しそうめんイベントや初詣イベントに参加された幼児さんたちは保護者ともに満足度が高かったため、今後も可能な限りイベント実施に努める